

西小は 大きな 家族

# Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 31 年 2 月 18 日 (月) No.52

発行人

いろいろな人から“大丈夫ですか？”  
と心配されて恐縮の川崎先生<(\_>)

## ■2月のある日の長休み■

荷物を抱えて図工室へ行くために階段を上っていた。バランスを崩して、いくつか落としてしまった。その瞬間にそこを通りかかった2年生が、すっと寄ってきて、さっと拾ってくれる。何人もが同じように拾おうとしてくれる。何気ない行動に癒される。

その後に“今日も寒いなあ～”と思いながら校舎内をぶらぶら歩く。ふとグラウンドを見ると、3年生が男女一緒になってサッカーしてる。やっぱり寒くても子どもは平気なんだなあ～、なんてほのぼののしている自分。その片隅でソフトバレーをしている5年生。でもなんか全体的に人数が少ないなあ。

などなど思いながら、もう一度あやめホールに上がる。あっ、いた。5年生が6年生を送る会の運営の練習していた。そうか、だから5年生は外に人が少なかったんだ。みんなが元気に遊んでいるときに、その一方で嫌な顔一つせずに仕事をしている。ありがたいなあ。

図書館に行くと藤田 t の脇で本を読んでいる者、お絵かきをしている者。その中の2年生に手招きされる。近寄っていくと、描いた絵を見せてくれた。きれいに塗られたドレスやお姫様。あたたかい部屋でお絵かきもいいね。これに紅茶とケーキでもあれば最高だけど(^\_^)

ふと図書館の窓から外を見ると、緑の広場から遊具にかけて、1年生2年生が大勢飛び回っている。滑り台に降りてはのぼり、登ってはおり、ブランコを揺らし、鬼ごっこをし、本当に飛び回っている。元気だし、仲がいいし、見ていて飽きない。

あれ？6年生は？と思いながら体育館に向かう。すると体育館脇では3年生女子が一輪車の練習だ。「校長先生、乗ってみて！！」「ムリムリムリ(>\_<)」。「ジャンケンに負けたら乗って！！」「校長先生、弱いのは知ってるでしょ(>\_<)」。

体育館の中には大勢いるいる。6年生と4年生だ。みんなドッチボールしてる。学年が違って、こうやって一緒に遊んでいる姿はなんとも微笑ましい。終わって出てきた4年生は、すぐさま一輪車の練習。「テストがあるんです」。ほお～、だからみんな乗れるようになるのか。納得納得。

それぞれ学年がまとまって遊んでいるんだけど、その中に違う学年が自然に入っている。それが当たり前の西小の姿。やっぱり大きい家族。

## ◇目覚ましジャンケン、ジャンケン、〇〇！？◇

朝、テレビを見ていると目覚ましジャンケンの場面になる。この時、掛け声が2種類ある事に気づく。①目覚ましジャンケン、ジャンケン、ポン。②目覚ましジャンケン、ジャンケン、ポイ。川崎はポンだなあ。西小の子どもたちもポン。ポイって言われると、何か違和感を感じてしまう。

あと、あれあれ。「今日はこれから〇〇しまーす。イエーイ！！」。「美味しいもの食べまーす。イエーイ」。ほとんどの人たちが「イエーイ」と言う。確かに川崎もよく使う。思い返すと、あらゆる場所のあらゆる場面で「イエーイ」って耳にする。なんか不思議な言葉だなコレ(^\_^)。あっ、お年を召された方はあまり使わないか。若者言葉なんですかね？